

クルマ
の学校

エコドライブ チャレンジ篇



Drive@earth


MITSUBISHI MOTORS



メカニックの伊藤さん(奥)が数値をチェック



エコ運転のためのポイントをあらかじめ伝授します!

熊沢講師によるデモンストレーション走行



まずは打ち合わせ☆

10月18日、ヴァンセル神戸戸戦がおこなわれる埼玉スタジアム2002に向かうクルマは、ギヤランフォルティス。
「同じクルマを2台用意して日下さんとボクが運転、それぞれの燃費を比較してみよう」

まずは、省燃費運転のデモンストレーション

毎日赤のコレトで通勤するというレッズサポーターの日下さんは、サポーター仲間の加藤さんを誘って、揃ってレプリカユニホームを着て参加していただきました。
そして日下さんのチャレンジに駆けつけたのが、「クルマの学校」校長で、ドライビングインストラクターの熊沢祥人講師。東日本三菱自動車販売のメカニック伊藤裕和さんも同乗して、クルマに専用コンピュータを接続し燃費データを分析してくれます。

という熊沢講師の提案で、2台のギヤランフォルティスが用意されました。
スタート前に、熊沢講師が「運転方法の違いによる燃費の差」を「デモンストレーション」してくれることになりました。
これから、コンピュータで正確な燃費を計りながら、運転の仕方による燃費の違いを見せましょう。同じコースを2回走りますが、走り方がどう違うか見ていてくださいな!
まずはデモンストレーション1本目。熊沢講師は、左右折や一時停止をしながら300mほどの距離を走ります。車載のコンピュータが弾き出した燃費は3.75km/ℓで、消費したガソリンは90ccでした。
デモンストレーション2本目。同じコースを走ったのに、燃費は6.52km/ℓで消費したガソリンはわずか50cc。1本目に比べると、使ったガソリンの量が4割も減っていました。

③ エアコンでも燃費は変わる
エアコンの設定温度に1℃差があると燃費は約5%変わります。温度を高めめに設定するとエンジンの負担が軽くなり燃費が良くなります。

② タイヤの空気圧にも気を使う
空気の少ないタイヤは抵抗が増えるので、燃費が悪化します。月に1回は空気圧をチェック。

① 暖機運転はしない
寒い冬に凍った窓を溶かすなど安全上問題がなければ暖機運転は必要ない。ただ、走りはじめは、控え目にクルマ全体のウォーミングアップを。



eco drive エコドライブのポイント

クルマの学校

MITSUBISHI MOTORS

エコドライブチャレンジ篇

栃木県宇都宮

埼玉スタジアム

地球温暖化防止への機運高まりを背景にして、省燃費運転に関心を持つドライバーの方が増えました。そこで今回は、浦和レッズサポーターで、東日本三菱自動車販売今泉町店近くにお住まいの日下さん(24)に、栃木県宇都宮市の自宅から埼玉スタジアムまでの約100キロの区間で「エコドライブ」にチャレンジしていただきました。



使用するクルマは、燃費を比較するため2台のギヤランフォルティス!



ドライブの安全とレッズの勝利を願ってポーズ!



今回参加メンバー

メカニック

伊藤さん



東日本三菱自動車販売のメカニック。車両診断システム「MUT-3」を使い、データから日下さんと熊沢講師の運転を分析する。

エコドライブ指導

熊沢講師



三菱自動車主催する「クルマの学校」で校長を務めるドライビングインストラクター。今回は講師としてエコドライブを指導。

同行者

加藤さん



日下さんのサポーター仲間でもあり、遊び友達。日下さんと同じサッカーチームで、フォワードを担当している。

チャレンジャー

日下さん



「クルマは赤の三菱車に限る!」というレッズサポーター。サッカーチームではボランチを担当している。愛車は赤いコレト。普段の運転では、あまり燃費を気にしない。

Start!

栃木県
宇都宮市

←宇都宮市周辺の一般道を走行します。

←もうすぐ北関東自動車道。上三川ICから高速道路に乗ります。

←佐野SAで高速走行の燃費を測定します。



仲良く並んだ2台の
キャンフォルティス

日下さんが
ハンドルを握って
いよいよ出発～!



高速道路に
入る前に
燃費をチェック

日下さん、
なかなかの数値。
熊沢講師は
さすがですね!

燃費データ

一般道・上三川IC手前

日下さん 14.50 km/l

熊沢講師 16.60 km/l



測定データをもとに
講師からアドバイス。



燃費の違い
が出てきた。
これはなぜ?

燃費データ

高速道路・佐野SA手前

日下さん 15.40 km/l

熊沢講師 17.40 km/l



エコ運転頑張るから
レッズもがんばれ!

「違いはわかりましたか?」

最初は、アクセルを勢いよく踏み、止まる時は強いブレーキを踏んでいました。2回目目は、シートとアクセルを踏み、早めにアクセルを離すように「ころがけました。必要以上にブレーキを踏まず、惰性を最大限に利用したんですよ」

「ちょっと心がけるだけで燃費はぜんぜん違うんです。さて、ここからは日下さんが実際に走る番。あんまり頑張る必要はありません。ちょっとだけ心がけて、走ってみてください。安全運転でね」

熊沢講師のやさしい言葉で、日下さんの緊張も解けたようです。

車間距離を多めに
燃費はよくなる

宇都宮市をスタートしたのは、9時45分。国道4号線のバイパスは込んでいるので、自分

「もつと車間距離を開けたほうがいいですね。前のクルマがちよつと減速してもブレーキを踏む必要がないし、先がよく見えるから安全」と熊沢講師がアドバイス。車間距離を開けると、燃費が良くなるのでコトドライブにつながるだけでなく安全にもつながります。

高速道路でも
燃費に差はつく

上三川ICから高速道路に入ったのは、10時10分。すいていて、自分のペースでクルマを進めることができる。

「たまに違うクルマに乗ると新鮮だね」と助手席の加藤さん。「いつものコルトより大きいから、ゆつたり運転できるよ」と日下さんもフォルティスを気に入った様子だ。

走りは、あくまでもマイペース。とはいえ、速度を一定に保って走る日下さんの運転はきわ

のペースというよりは、周囲の流れに乗って走る日下さん。流れの速い区間もあるが、前を走るクルマの動きに乱されてブレーキを踏むことも少なくない。

「今日は勝てるかな」「最近のレッズは踏ん張りが必要だ」と思う。実力が発揮できていないから、試合を見ているとハラハラさせられちゃうよ」と日下さん。車内では、レッズ話で盛り上がる。

北関東自動車道に入る上三川ICの手前で、燃費を確認するためにクルマを停めました。

出発前のデモンストレーションが効いたのか、日下さんの燃費は14.5 km/lと十分にエコな数値。しかし、熊沢講師の燃費は16.6 km/lとさらに上。2台は並んで、同じペースで走ってきたのに・・・

「日下さんは運転が上手だし、いい燃費だね。もう少しコトツを掴むともつとよくなるよ」

めてスマートで、快調にクルマを進める。

待ち合わせ地点の佐野SAに、先に到着したのは日下さん。2分ほど遅れて、熊沢講師が到着した。

気になる燃費は、日下さんの15.4 km/lとに対し、熊沢講師は17.4 km/l。加減速の少ない高速道路を同じように走っているのに、差はなんと2 km/lもある。これには、日下さんも驚きの顔を隠さない。

高速道路は、走る車線
によって燃費が違う

「ボクのクルマに乗ってごらん。秘密を教えてあげるよ」

ここからは、熊沢講師が運転するクルマに日下さんが乗って、高速道路のエコドライブを伝授してもらうことに。

佐野SAをスタートしたフォルティスはまず、3車線のうちいちばん左側の車線を走る。

Eco Drive
ポイント

4 スマートに
アクセルを
踏む!

スタートも加速もシフトアップもスムーズに。AT車はクーパーでスタートするぞ。



*クーパー
アクセルを踏まずエンジン
がアイドリング状態で
動く現象

5 車間距離を
あけて
先を見る

車間距離を開けて前方の様子を把握し、無駄なブレーキを踏まないようにする。

6 惰性を
利用する

前方の信号が赤になった時などは、早めにアクセルを離して惰性で走る。

Eco Drive
ポイント

7 渋滞は避ける

加減速や停車の多い渋滞は燃費を低下させるので、渋滞のない道を選ぶようにする。

8 高速道路は
ゆっくり走る

速度を上げるほど空気抵抗が増えて、燃費が悪化する。ただし、交通の流れを乱さないようにする。



9 エンジン
ブレーキを
有効に使い
減速!

エンジンブレーキを使うとエンジンに送られる燃料がカットされるので、燃費が良くなる。



気合いを入れて
レッズにエールを送ります!



埼玉スタジアムが見えてきた〜!!

浦和 IC

蓮田 SA

羽生 PA

佐野 SA

なんと!生徒の目下さんが講師を上回る数値を!

走行車線に気を配った後、果たして燃費は…?

燃費データ	
高速道路・蓮田SA手前	
目下さん	18.50 km/ℓ
熊沢講師	18.40 km/ℓ

●走行する車線と燃費の違い



※上記は熊沢講師による実測。天候や混雑状況により数値は異なります。



走行車線の違いによる燃費の違いを測定



熊沢先生の解説は、とてもわかりやすいです



佐野SAでちょっと一息♪

ルマの動きにペースを乱されることもあり、エコドライブにとっては好ましい条件とはいえません。それでも、スタジアムが近づくとつれ少しい興奮気味の目下さんと加藤さんは、レッズのステッカーを貼ったクルマを見かけて盛り上がるなど、あくまでマイペースです。

埼玉スタジアムの最寄りのインターチェンジは浦和IC。降りる手前の蓮田SAには11時45分に到着しました。「あれ、負けちゃったねえ...」

熊沢講師のそんな声が響いたのは、燃費の確認をしていたとき。目下さんの燃費は18.4 km/ℓ。熊沢講師の燃費は18.5 km/ℓ。熊沢講師の燃費は18.4 km/ℓ。なんと、生徒が先生を抜いてしまった!?

「ポイントをしっかり守って走れば、いい燃費が出せます。教えたことを目下さんがきちんと実践したから出たんですよ。エコドライブは、少し気配りす

「伊藤さん、燃費を計ってもらえるかな」

熊沢講師の指示で、伊藤さんがコンピュータを使い燃費を測定する。ちよつと3キロ走り測定された燃費は18.0 km/ℓだった。

その後、熊沢講師は隣の中央車線に移り、同様に燃費を測定。燃費は15.68 km/ℓ。最後にもっとも右側の追い越し車線を走ってみると、13.89 km/ℓまで燃費は落ちてしまった。同じように走っているように見えるけれども、その差は4 km/ℓ以上もあるから不思議。

「実は、走る車線によって燃費が違います。理由はわかりますか? 速度が違うんです。いちばん左側の車線は約80 km/hで流れていましたが、中央は約90 km/h、追い越し車線はほぼ100 km/hでした。高速道路では、空気が抵抗になって燃費にいたずらする

「まいったな〜」
目下さんの頑張りにより
熊沢講師も脱帽!



るだけで誰にもできるんです。でも、エコドライブをしたから疲れるなんていうのは、本末転倒。運転が疲れるほど取り組む必要はありませんよ。ちよつと心がけて、疲れない程度に実践するだけで効果はできますから」

熊沢講師は目下さんの健闘を称えました。

そして、「やられたね。悔しい思いをしたなあ...」。

んです。速度が高くなるほど空気抵抗の影響を大きく受けるので、燃費は悪くなる。だから、走る車線によってこんなに燃費に差が出るんです。

高速道路で燃費をよくするには、なるべくアクセルを定に保つこと。そして、交通の流れを乱さない範囲でゆっくりに走ることです。交通の流れを乱すほどゆっくりに走るのは危険ですけどね」

佐野SAに到着するまでの2人の燃費の差の理由も、速度の違いだったようです。

熊沢講師も驚いた
予想外の展開

「さあ、高速道路はここからは卒業試験だ」

羽生PAでクルマを乗り換えた目下さんに、熊沢講師はそう声をかけました。

東京に近づき交通量が増えた東北自動車道は、周囲のクルマの動きにペースを乱されることもあり、エコドライブにとっては好ましい条件とはいえません。それでも、スタジアムが近づくとつれ少しい興奮気味の目下さんと加藤さんは、レッズのステッカーを貼ったクルマを見かけて盛り上がるなど、あくまでマイペースです。

埼玉スタジアムの最寄りのインターチェンジは浦和IC。降りる手前の蓮田SAには11時45分に到着しました。「あれ、負けちゃったねえ...」

熊沢講師のそんな声が響いたのは、燃費の確認をしていたとき。目下さんの燃費は18.4 km/ℓ。熊沢講師の燃費は18.5 km/ℓ。熊沢講師の燃費は18.4 km/ℓ。なんと、生徒が先生を抜いてしまった!?

「ポイントをしっかり守って走れば、いい燃費が出せます。教えたことを目下さんがきちんと実践したから出たんですよ。エコドライブは、少し気配りするだけでいい燃費が出ます。エコドライブでいちばん大切なのは、先の流れを見て、クルマや信号を見て無駄なアクセルを踏まないこと。少し気にしてみるだけでいいです。省燃費運転はあまり真剣にやると疲れてイヤになってしまうので、少しだけ心がける、ということもコツですね。

参加してみて...

目下拓野さん

いつも以上に気を使いましたが、教わたったおりに運転したら、しっかりと差が出て、その上先生を超えることもできたから大満足です。ちよつと気をつけて走るだけでいい燃費になることを実感しました。



ちょっとした心がけで
エコ運転になるんですね



講師メッセージ

クルマの学校 熊沢祥人

ガソリン代を節約しようというのはもちろん、世界的に地球温暖化が叫ばれている中、使うガソリンを減らすのはとても大事なことです。ひとりひとりが意識しないといけないことですが、私たちはクルマのない生活は考えられないので、クルマをやるために不便な生活を犠牲にしないようにしたいですね。

Drive@earth



エコドライブ使用車について

エコドライブ指導 熊沢講師：ギャランフォルティス ■DBA-CY4ASTMH ■EXCEED ■2WD
チャレンジャー 日下さん：ギャランフォルティス ■DBA-CY4ASTMH ■EXCEED ■2WD

* 今回の燃費測定は、車両診断システム「MUT-3」を用い、車両コンピューター情報より算出した燃料消費量で行いました。

* お客様の使用環境や運転方法に応じて燃料消費率は異なります。

* 現在の燃費は10・15モード燃料消費率で測定され、車種カタログに掲載しております。
詳しくはカタログをごらんください。